

細菌はおともだち

立原誠之

その2：微生物ってなんぞ？

さて、最初は微生物って何？から始めようと思います。

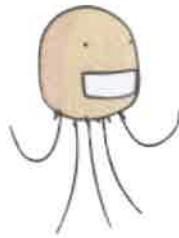
微生物って肉眼では見えない、または細部を観察出来ないものを総じて微生物と呼びます。

なのでミジンコとかアメーバも微生物です。

ここでは細菌、菌類とウィルスについてお話しします。

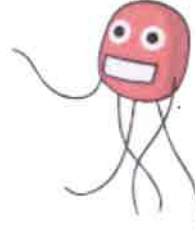
分類では未だにあーでも無いこーでも無いと議論されていて面倒なのでザックリと説明します。99%は培養不可で、専門家の間でも未知な部分が多いのです。

オレ大腸菌！



オレも大腸菌！

でもみんなにO-157って呼ばれてる！



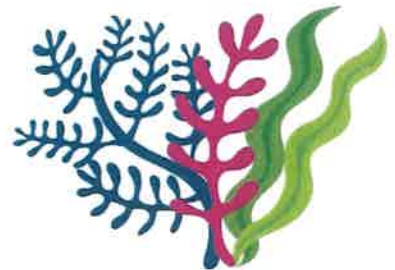
細菌

皆さんも聞いた事があると思いますが、大腸菌、乳酸菌、ブドウ球菌、枯草菌、紅藻類など色々あります。そして、それぞれに仲間がいて、肉眼で見えませんが顕微鏡で見たとしても判別は難しいです。

また、肉眼で見えるものもあります。紅藻類（こうそうるい）は集まったものを目にしています。

そう、海苔とかテングサです。実は細菌だったのです！

そして何処にでもいます。煮えたぎる温泉や深海火山の火口とか氷の中とか。



菌類

酵母菌の仲間ですがコレも単体では見えません。

が、基本集まっている菌類があるのでよく目にします。

肉眼で見えるのはカビとかキノコです。周りから栄養を取って生きています。

顕微鏡で見るとたいていは糸状です。酵母は球状ですがたまに伸びます。

カマンベール作るぜ！



ブルーチーズ作るぜ！

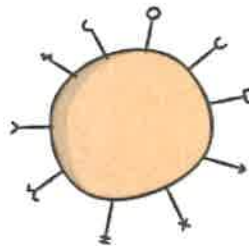
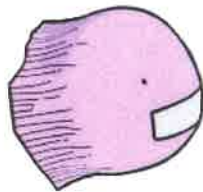


風呂場やエアコンに黒いシミ作るぜ！



先に行ってるぜ！RS！

インフルエンザ待って！



ウィルス

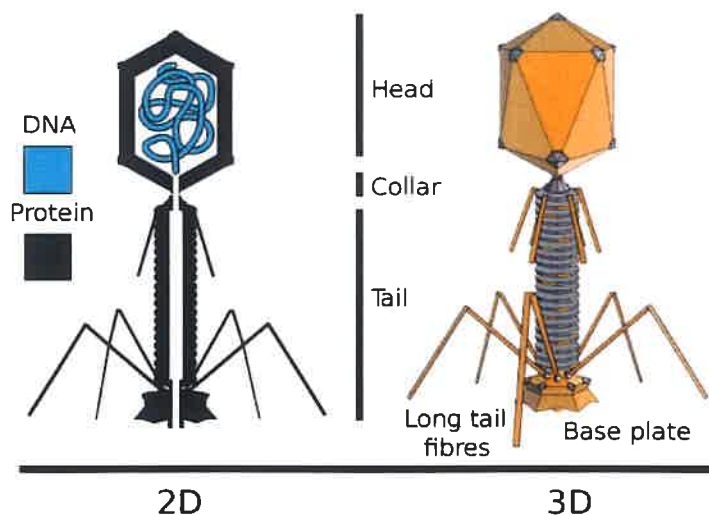
ウィルスは一般的に生物では無いと言われています。

謎多い物体ですが1930年代に電子顕微鏡が発明されて、やっとその存在が確認できたぐらい小さいです。

なんせ他の細胞内でしか増える事が出来ないし、細胞内小器官（人間で言うところの臓器）が無いのです。コロナウィルスだって人間の細胞内に侵入しなければ増える事が出来ない。DNAかRNAしか持っていない謎の物体なのです。

ニュースとかで電子顕微鏡のコロナウィルスをご覧になっていると思いますが、あのような丸っこいウィルスは動植物細胞に感染します。そしてバクテリオファージと呼ばれる細菌に感染するウィルスもあります。

このバクテリオファージ、見た目は宇宙船です。コレを見るとほんとに生物に分類出来ないのがわかります。



次回はお待ちかねのウンチのお話です。ウンチはとっても大事な情報屋です。

覚えがありませんか？赤ちゃんの頃のウンチ。そこに焦点を当てていきたいと思います。



みなさんこんにちは。

こどものとも社の高林信作と申します。

原町幼稚園さんに福音館書店の月刊絵本『こどものとも』をお届けしています。

ここでは、人類史の話をベースに、書籍や絵本の紹介をしていきたいと思います。

少し前から、友人に誘われて、菅釣りというものに行くようになりました。

菅釣りとは、管理釣り場での釣りのことで、いわゆる釣り堀です。

対象魚はトラウト類（ニジマス、イwana、ヤマメなど）で、餌釣りではなくルアーという疑似餌を使ったルアーフィッシングです。（餌釣り場もあります）

全国に釣り場があり、釣った数を競う大会や、年間王者を決めるトーナメントなども行われています。

私は大会に出たり、競う釣りではなく、大物狙いの釣りをしています。

というのも、管理釣り場では、各釣り場や水産試験場、養鱒場等が品種改良をした「ご当地サーモン」や「ブランド鱒」などの特別な魚を釣り場に放流しているからです。

これらの魚は体が大きくて、身は赤く、臭みが全くないため、お刺身で食べると非常に美味しい魚です。

高級魚としてお店にも卸されています。



近くでは、

裾野市「裾野フィッシングパーク」 ブランド鱒「スーモン」

山梨県「小菅フィッシングヴィレッジ」ブランド鱒「甲斐サーモン」などがあります。

自分で、釣って捌いて食べる、これが、ひとつのルーティンとなっています(^^♪

世界最古の釣り針が日本で発見？



2016年に沖縄県南城市サキタリ洞遺跡で世界最古の釣り針が発見されました。

釣り針が見つかったのは2万3000年前の地層で、旧石器時代にあたります。  貝を使って作られたこの釣り針は、大きさ約1.4センチで、半円形の弧を描き、一方の先端がとがっています。同じ地層から研磨に使ったとみられる砂岩片も見つかりました。他にもこの地層からは、川にいるオオウナギやカニ、海にいるブリ、アイゴなどの骨も見つかっています。

この発見で、陸上での狩猟が中心と考えられていた旧石器時代ですが、海や川も食料の採取場としていたことが新たにわかりました。

そして日本はこの時代も、モノ作りの最先端をいていたのですね。すばらしい！

他に国内では神奈川県横須賀市の夏島貝塚から約1万年前の釣り針が発見されています。

日本は昔から海や山に囲まれた自然豊かな島国です。私たちの祖先は自然と共生して暮らしてきました。自然の恩恵を受け、その場、その時、その季節に、採れるものを必要な分だけ採って暮らしていたと考えられます。

私たちの命を現代まで繋いでくれた自然に感謝したいと思います。

魚が掛かった時の、あのドキドキ、ワクワクと、手に伝わる生命の力強さを、古代の人たちも感じていたのではないのでしょうか。

つづく

子育てのアレコレにまつわる つぶやき⑬『Don't be Evil』



京都光華女子大学心理学科 大谷多加志

前にも書いた気がしますが、子育て支援などに関わる中で「現代の子育て世代の方は不安が高い」と認識していました。「～ってどうなんでしょうか?」「習い事って何をさせたらいいですか?」など、細かな質問を受けることが多く、その背景にひと昔前の「英才教育志向」ではなく「何かひとつでも子どもに持たせてあげたい」という切実な思いが滲んでいたからです。未来予測が困難な時代です。子どもの将来への不安や「せめて何かひとつでも」という思いがこの背景にあるのだと思っていました。

ですが、少し違和感もありました。これほど混沌とした社会で、幼児期の習い事がそれほどアテになるとは思えませんし、保護者の方もそう思い込んでいる様子はありません。そこで思い当たったのは「タイパ」「コスパ」という言葉です。いかに効率よく成果を出すかが重視される社会の中、私たちは日常生活の中でさえ、この価値観にとらわれています。一方、「子育て」はどうでしょうか。これほど、タイパやコスパから遠いものはないでしょう。寝るだけのことに、親も巻き込んで1時間…、わざわざ離乳食を作ったのに全然食わず結局廃棄…という経験は、親であれば誰でもしていることでしょう。

私たちは子育ての中でも成果が出ることだけをしようとしてしまっているのかもしれませんが。先日、アソブロック株式会社の団遊氏のブログ(Note)で次のような記事を見ました。かなりの要約ですが、Google を辞める友人がいて、その背景として会社のポリシーが「Don't be Evil」から「Do the Right Thing」になったことがある、と書かれていました。「Don't be Evil」(邪悪になるな)と「Do the Right Thing」(正しいことをしろ)はほとんど同じ意味を指すと思うかもしれませんが。ですが、私たちの社会には「邪悪でも正しくもない」部分がとても広く存在しています。「正しいことだけ」というのは、とても不自由で狭苦しいものに感じられたのではないのでしょうか。子育ては、たぶん「Don't be Evil」でよいのです。避けた方がいい「Evil」は、攻撃したり支配したりすることくらいでしょうか。そのような心持ちで子育てをすることができたら、子育てはもっと自由になるのかもしれませんが。



From Seed To Cup(6)

はらっぱをご覧の皆さんこんにちは
自家焙煎珈琲屋花野子の齋藤大地と申します。
原町マルシェにお越しくださった皆様、
荒天の中準備から当日の運営まで、
頑張ってくれた先生方ありがとうございました！
楽しい時間をご一緒出来て既に次回を楽しみにしております。

さて今回は珈琲の選び方の一つ、産地について。

珈琲は世界70ヵ国で生産されています。
主に赤道を挟んで北緯25度、南緯25度の
コーヒーベルトと呼ばれる一帯に集中しています。
最近では気候変動もあり日本でも栽培されていますが、
日本中に流通するには至っていません。
珈琲は産地、焙煎度合、抽出方法、等級など複数の要因が複雑に重なる事で
味が決まりますが、そんな事言われても困る！決まらない！知らんがな！
という方も多いと思いますので、
今日は産地別の大まかな特徴を覚えて、
珈琲を選ぶ時に参考にして下さい。

○南米(ブラジル・コロンビアなど)

キャラメルやナッツ、チョコレートの様な風味が特徴的で、
コーヒーと言われてイメージされるポピュラーな風味。

○アフリカ(ケニア・エチオピアなど)

ジューシーな酸味が特徴。
プラス ボディがしっかりしている。

○アジア(インドネシア、ベトナムなど)

スパイシーでハーブのような変わった風味もつコーヒーもあり、
マンデリンなど特徴的な個性を持ったコーヒーが多い。

○中米(グアテマラ・コスタリカなど)

スペシャリティコーヒー産業の中心地。
明るい酸味を持ちつつ、中庸でバランスの取れたコーヒーが多い。

味の決まる要因としては焙煎度合の方が大きいですが、これらの産地別の特徴を頭
に入れておいて、その時の気分で珈琲を選べば
友達から一目置かれるかもしれません。・・・が、
あまりわざとらしいと ウザがられて友達から嫌われる恐れもあるので、
その辺のバランスにご注意下さい。(^_ ^)

花野子が出来るまでの物語 その6

なんとか場所が決まり、次は店舗改装。
清一はかねてから、サラリーマン時代にお付き合いのあった
フォルムの若杉社長のセンスと腕に惚れていた。

自分がお店をやるなら、店舗は絶対にこの人！
と心に決めていた。
実際お願いに行くと、とても忙しく、時間がなかなかとれない。が、
引き受けてくださった。

わざわざ、東京カフェバッハまで同行願い、
なるべくバッハと同じようにと依頼した。

10月中旬

店舗改装がいよいよ始まった。
フォルムさんに任せている間に、
こちらは、椅子・テーブル・カップ・置物等、
買い物に忙しい日々となった。

壁に飾る額は、
店を持つなどなにも考えていなかったサラリーマン時代に、
かの子と 科へ遊びに行った時に、ホテルのロビーで
『米倉健史キルトアート展』を開催していて、
一目でそのなんとも言えない優しくて温かい、
キルトアートに魅せられていた。
お店をやるとなった時、まずあの絵を飾ろうと思っていた。

季節はもう秋から冬に変わっていた……

前半の物語を読みたい方は、もくじのページの手順で原町幼稚園HPではらっぱのバックナンバーをご覧ください。



ご注文は電話でも☎969-2830

花野子インスタ

世界に飛び立て(6)



こんにちは。はらっぱを通して、自分の子育てを振り返る第二弾、今回は『もし、もう一度子育てが出来るとしたら「次は絶対にこうする！」ベスト5』

のうち、とにかく子どもとたくさんお喋りする、子どもの話をたくさん聞くを振り返ってみます。振り返るという事は、自分の中で課題となっているわけです、つまりあまり聞いてあげられなかったというのがまずは反省です。

喃語*から、赤ちゃん言葉になり、娘が何を言っているのか母親しかわからない時期ってありますよね？あの頃までは、興味深く面白く娘とお喋りしていたのですが、いつからか、仕事が忙しくなり、疲れていたり、やることに追われていたり、と、娘とのお喋りする時間の優先順位が下がってしまいました。

あの時の娘が何を考えていたのか、何に興味を持っていたのか、どんな気持ちだったのか、もっともっと聞けていたら、今、どんな子になっていたんだろう？とふと思う事があります。(全然話していないわけではなく、もっと、という意味です・・・言い訳)

コーチングの基本的な考え方として「誰かに話しを聞いてもらう事で、相手は話しやすくなる、もっと話してくれる」というものがあります。

話す事って、どんな良い事があるのだろうか？

- ・自分で自分のことがわかる
自分ってどんな事思っているの？自分は何に興味があるの？など自己認識が深まる
- ・他者との関わりを学ぶ、対人関係を構築する力がつく
- ・言い方、伝え方、語彙力、表現力など、話すスキルが上がる
- ・何か困ったり躓きそうになったりする前に、誰かに話そうと思ってくれる
- ・誰かと話す事を楽しい事と思ってくれる



などなど、100%私の主観ですが、きっとこんな良い事が沢山あるのだろうと想像しています。「話す⇔聞く」は生きていく中でずーっと必要な事であり、その大切な力の一步は親と子の関わりから育まれるんですよね。

上手に話せることなんて求めません、ただただ、話す事って楽しいなと思ってくれるだけで万歳です。一方で、これを日常で行うのはなかなか難しいと感じています。前述したように、親も色々大変なんです。なので、しっかり話す時間を少し取るだけでも良いと思うのです、30分でも。「私が話す時は、いつもちゃんと聞いてくれる」という気持ちを感じてくれるだけで良いと思います。



そして、このエッセイを書いている今、隣のソファから娘が話しかけています。時間に追われていますが、一旦手を止めてお喋りしようと思います。次回もよろしくお願いします。孫ちゃんす

*喃語（なんご）とは、赤ちゃんが意味のある言葉を話せるようになる前の段階で、発する意味のない声、または意味がはっきりしない声のことを指します。具体的には、「ばばば」「だだだ」など、子音と母音が連続する音を繰り返したり、音遊びをしたりする声のことです。喃語は、赤ちゃんが言葉の発達を練習するためのステップであり、意味のある言葉に移行していく前の段階です。

OBママからのメッセージ

赤い車と青い車

今日、赤い車を何台見たか数えてみて！
と意識したら、赤い車ばかりが目に入る。それなのに、不意に青い車の台数を聞かれたら、意識をしてないから、数えてないから、数台見たかどうかで、比べたら圧倒的に赤い車の台数が多い。実際には、大して変わらないのに…。

何を言いたいかというと、赤い車を「楽しいこと」、青い車を「不安」としたら、何を意識しているかで、見えるもの感じるものが全然違う…。
そんな話を聞いたら、楽しいを考えていたら、楽しいことばかりが思い付き、不安や恐怖を数えたら、そんなことばかりが見えてしまうってこと。笑ってると、緊張がほぐれ、アイデアもいっぱい♪

見える景色も違うってこと。意識したもので、体験が変わるってこと。

楽しい体験いっぱい「はらまち幼稚園」
笑いの絶えない「はらまち幼稚園」
共通の笑いを共にした子供達。先生方、大人達。
この幼稚園が活気があるのは、私達の子供が通っていた頃も、今も変わらない。
先生達も楽しんでる♪

楽しいの思いが重なると倍増。それ以上かもしれない。
マンネリ化しない「幼稚園」
楽しいを一緒に感じて育った心は繋がってる。
赤い車、青い車の話を聞いて、子供達に何を感じて過ごして欲しい？
はらまち幼稚園で知り合った関係に、
何年経っても感謝してる保護者の仲間がいることが幸せな歳月を重ねる。

次回は、「脇役が主役！」です。
2008（平成20）年度卒園生の母・登内美香

2008年度卒園写真
当時は59人の年長さん
が卒園しました。
現在22～23歳ですね



原町幼稚園 第52回修了生 平成21年3月



9 HIKARI

vol
34

さいになりました。

1

なんだ
かんだ

あーや
こーや

どーした
こーした

どないや
そないや

ぷっぷっぷー

2 はああああ〜うるさい。

手洗った?

はやく着がえんと
間に合えへんで。

聞いてます?
もしもし?

←反応ナシ

3

なんて?

なんて言うた?

ちよっと。聞いてます?

4

その前

ややこしい
なあー

はやく着がえんと
間に合えへんで。

その前

えーから
はよ
着がえーや

手洗った?

その前

ほんと
結局
洗った人かいな

あーもー
覚えてないわ。

5

はああ
ああ〜
うるさい。

って
言うたんやっ

全部

聞こえとるがな。

6

なんかちよっと
腹立つな。

7

腹立つのん
ヒカルの方がう。

あ。ヒカル
指切るわ。

おまけ

つめな。

博士と
ゾウ
アザラシは
まだ
まだ
さむいねえ
と
たびを
つづけて
あります

もしかしたら
温泉では
ないかしら
？

こんな
ところ
に
温泉が
ある
って
あった

あったかい

ズウ
 アザラシは
 大きな
 はなだけ
 温泉に
 いれたので
 あった

そうしたら
すいこまねて
しまった
のよ

こゝれは
たまげた
おどろいた
ソウアザラシは
どうなったの
かしらね

な　こ　ふ　う　な　な　の　い　る　あ　る

8
ソウ
アザラシの
こえか
する

オハイリ
ナサーイ

博士は
ちよっと
こわかった
けれど
温泉に
はいる
ことに
した

いいねえ
こーは
地底温泉
なのね

ミミズか
温泉に
はいり
きた

フ コ
ダ メ
サ シ
イ

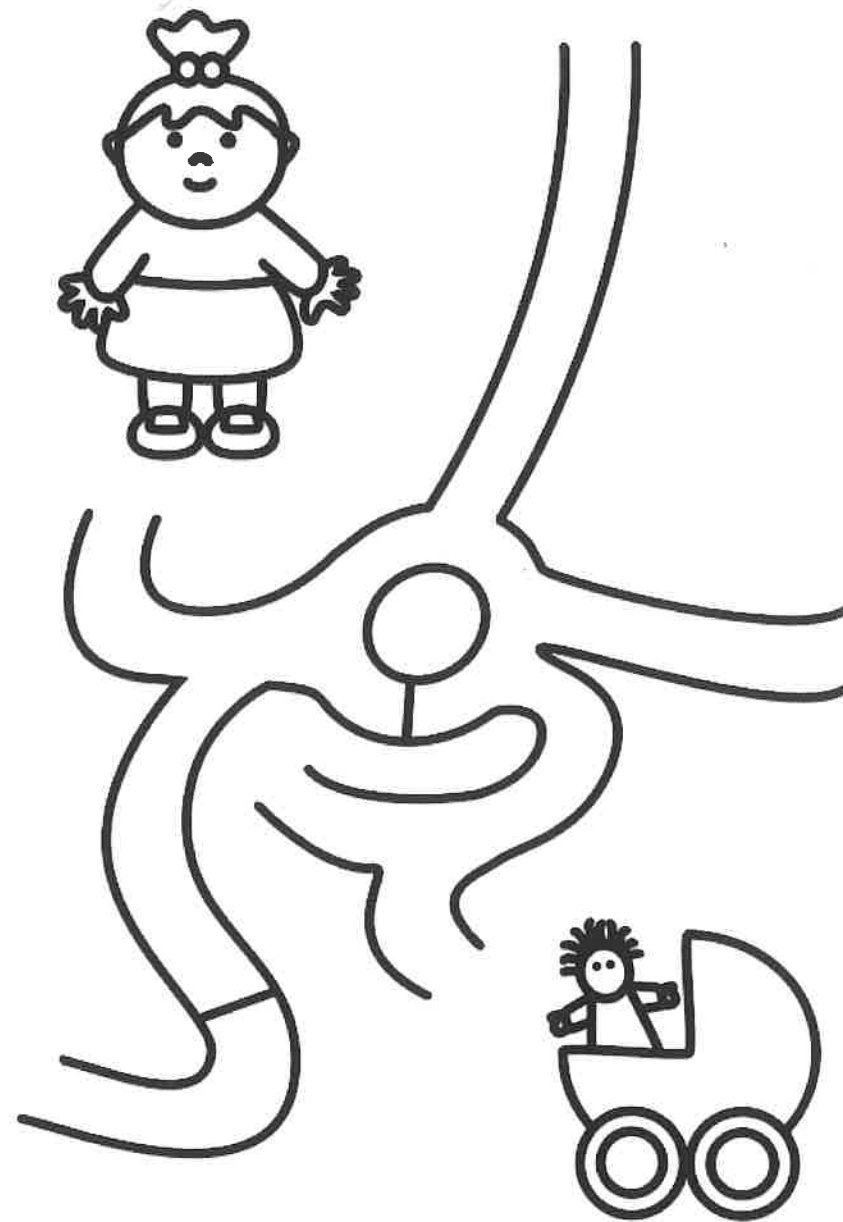
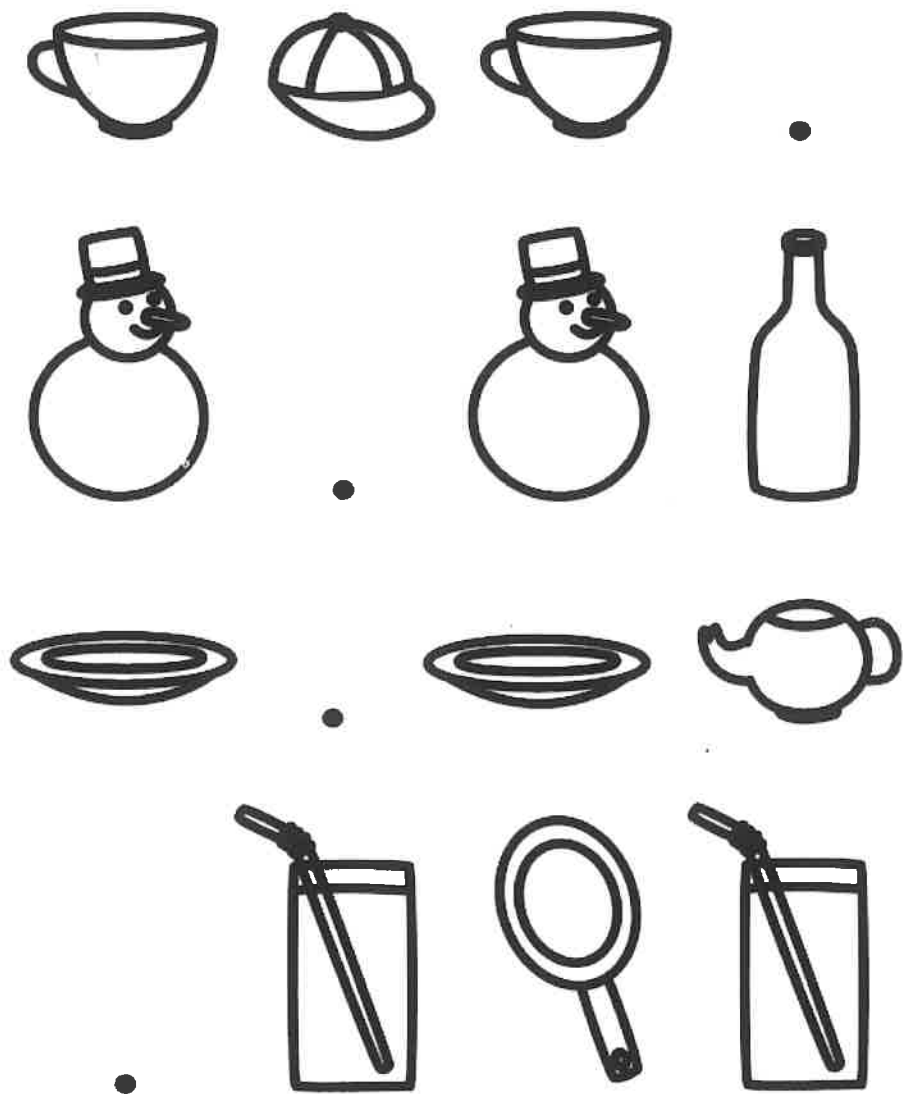
ガマ
ガエルを
やって
きた

シツレイ
シマス

へびも
やゝて
きた

虫たちも
いっは
やっ
くる
の
あ
った

あ、あ
おどろいた
あの
生きもの
たちの
温泉
だったん
だねえ



思い込みとエビデンス

教育経済学者（慶應義塾大学教授）の中室牧子さんの「科学的根拠（エビデンス）で子育て」という本を読んだ。ベストセラーなので読まれた方もいるでしょう。

幼児教育にもエビデンス（裏付けとなる証拠やデータ）という概念が入ってきて久しいところですが、キャリアを積んでくると「そこ、こうやるとそうなるよね」という経験値は高くなってきて、それはそれで実際の仕事を進めていく上では大切なスキルになるけど、それが個人的な狭い経験と思い込みに留まっているとよろしくありません。そのため時々経験をエビデンスで裏打ちする必要があるのです。

中室先生は、世界で行われた研究の論文を片っ端から読んで、子育てに有益なこと、そうでないことを「科学的根拠」として読みやすくまとめてくれています。先生が研修会のパネラーとして出席されていたときに「国が推奨している幼稚園の第三者評価って有効ですか？」と会場からの質問に「有効ではありません！」とズバツとお答えになった様子を見て、忸度せずにモノを言われる方だと気に入っていたのです。

（エビデンスに基づいて仰ってるんでしょうけど）最近では《情報7daysニュースキャスター/TBS土曜22時》という番組にもゲストで出ていたりするので、教育界の外でも知名度が上がってきましたね。

前置きが長くなってしまいましたが、この本の中でオモシロいなと思ったものをいくつか紹介しましょう。要約ではなく僕の経験と照らし合わせて「ふむふむ」と頷ける項目をちょこっとです。

■将来の収入を上げるために、子どもの頃に何をすべきなのか？

子どもの頃にやっておくべきことベスト3

- (1) スポーツをする
- (2) リーダーになる
- (3) 非認知能力を高める

(1) (2) については、調査時の職業や収入を明らかにした上で、学生時代にスポーツを経験した人、リーダーになった経験がある人の割合と収入を比較調査したエビデンスによって結論が導かれているそうです。細かい根拠は本書に書かれていますが、幼児期に当てはめて考えると、結局(3)の非認知能力を高めることに集約されるなあ、と思います。たとえば、スポーツは頑張って技を習得するため「やりとげる力」やチームプレイをするための「協調性・自制心」という非認知能力が習得できますし、リーダーになると、メンバーの調和を考えたり、決断力を要する場面や、みんなの前で話をする機会も増えるというわけです。

参考になったので、今年の年長組のお当番活動の担当を日替わりから数日連続して担当するように変更していこうと担任と相談しました。お当番というリーダーをこなしつつ、昨日うまくいかなかったことを今日ではできるようにしよう、というように子ども自身が繰り返しブラッシュアップさせていくことをねらっています。

■偏差値の高い学校に行くと将来の収入は上がるのか？

という問いに対しては、両方の論文がありますが、信憑性の高い論文の結果からは、大学卒業後の収入にほとんど差は無かったそうです。だからといって勉強をしなくて良いと言うことはなく、勉強には他の効果があることも本の中で述べられています。余談ですが幼児教育で認知能力（いわゆるお勉強）に力を入れている園の質は低い！と断じていました。（気をつけます！（^_^;））

最近は塾通いで忙しい子どもたちも多いのですが、こんなことも書かれています。

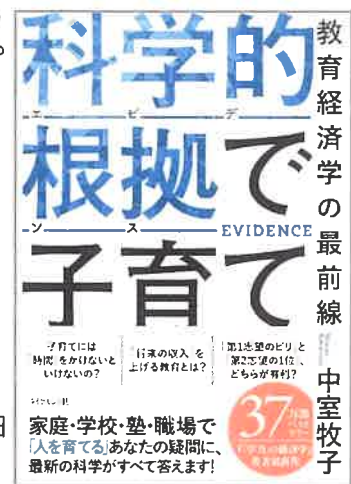
■「やらないよりやったほうがいい」と考えることは

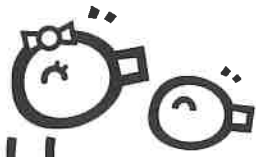
それをやらなければできたかもしれない別の挑戦への機会を失うこと。

スティーブジョブズの言葉を借りると「最も重要な決定とは、何かをするかではなく、何をしないかを決めること」だといいます。子どもが本当に興味を持って取り組むことが肝要で、とりあえずやっとか、というのはいわゆる効果を生まないことが多い、ということでしょう。

教育効果におけるエビデンスはあくまでも「こうしたら、こうなるというケースが多いですよ」という結果を示しますが、人間ですから真逆のケースも少数ながらあるわけです。

なので、判断の補助にすぎないということは認識しておくべきでしょうが、少なくとも思い込みを是正したり、悪い結果が起きそうな選択を避ける指針にはなるのではないのでしょうか。興味があったら読んでみるのも良いですね。園長 鶴谷主一





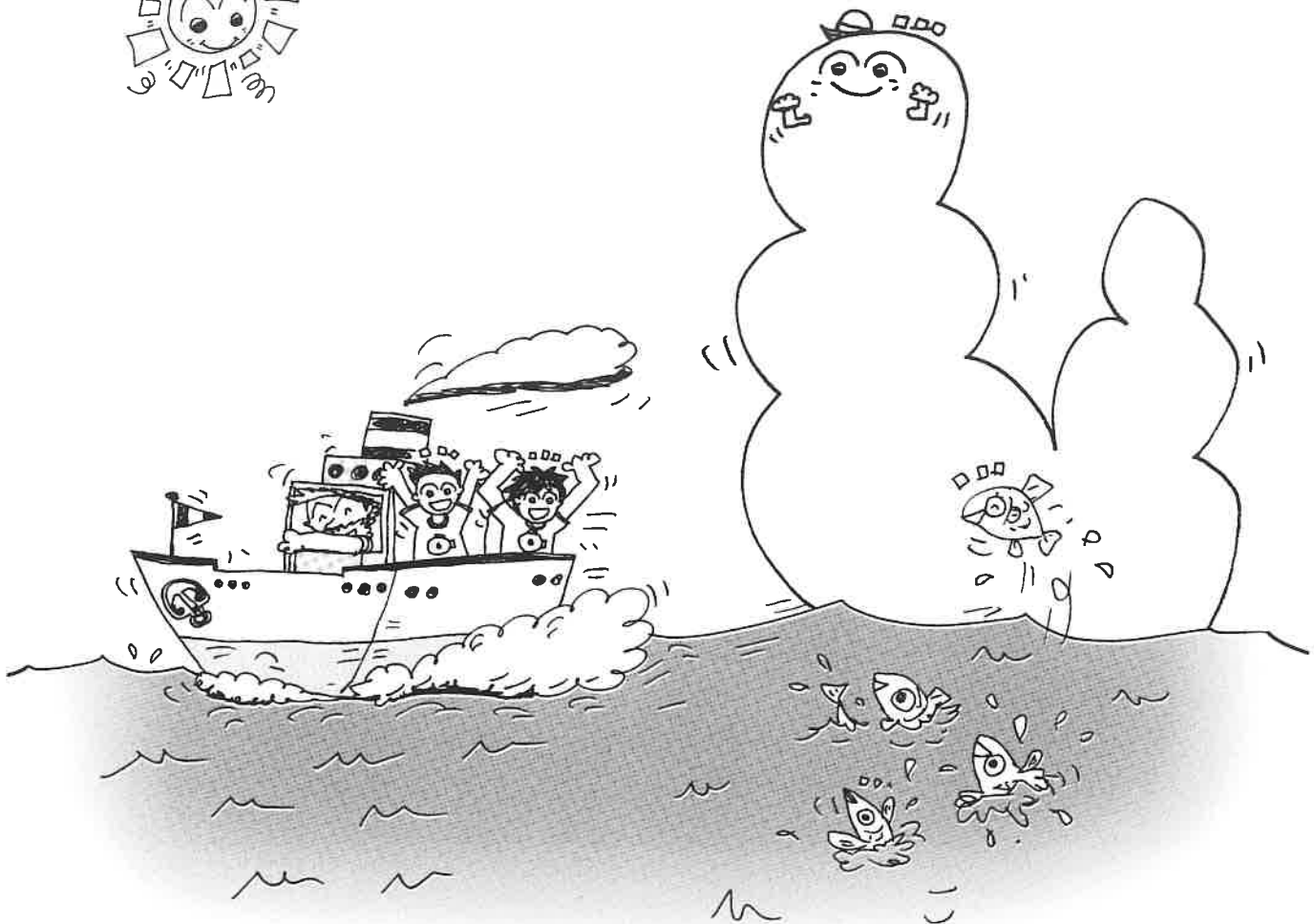
Haramachi

はらまちようちえん編集・発行

410-0312 静岡県沼津市原199の1
phone 055-966-7338 fax966-7370
<http://www.haramachi-ki.jp>

CLASS

NAME



こどものはらっぱ6月号

くみ/なまえ

●お家の方へ。圖便り「はらっぱ」のふるくです。お子さんがあれこれ考えたり気軽におしゃべりしながら落書きするためのきっかけで楽しんでください。●親子やきょうだいで一緒にやってもOK。どんな画材を使ってもどんなふうに描いても、何かを貼っても結構です。イメージを発揮して個性あふれる作品を期待しています!●出来上がったらお子さんに持たせてクラスまでお届け下さい。クラスに貼って「みんなはどんなの描いたかな?」なんて見合って楽しんだあと月末にお返しします。

うまにのっているひとをかきましょう だちょうにのっているひともかきましょう

